

第1回 本明川ダム建設事業 環境保全検討委員会 議事要旨

日時：平成30年3月9日（金） 14：00～16：00

場所：ホテルグランドパレス諫早 平安の間 （諫早市）

事務局からの説明

- ・現時点の事業進捗について報告した。
- ・本事業に係る環境保全の取り組み状況について報告した。
- ・平成29年度の事後調査報告書の内容について報告した。
- ・平成30年度の事後調査計画書の内容について報告した。

主な議事

○委員会について

- ・委員会の設立趣意書及び規約について了承された。規約の適用日は平成30年3月9日とする。
- ・鴨川委員を委員長として選出した。

○環境保全の取り組み状況について

【水質】

- ・母材山の工事にあたっては、粉じんの抑制のほか、掘削跡地からの濁水流出を防ぐための面源対策についても検討してほしい。
- ・定期水質調査については、平常時のみならず出水時の調査も継続してほしい。

【植物】

- ・土壌の菌類と共生関係にある植物の移植は難しいため、慎重に実施してほしい。
- ・見た目が美しい重要な植物は、人の採取による影響も受けているため、啓発に努めてほしい。

【動物】

- ・水没する地域やダム下流河川に生息する流水性のトンボ類は、今後影響を受ける可能性があるため注意してほしい。

【湿地・草地環境の整備】

- ・ビオトープの維持管理や利活用は、地域の自治会、小学校、市民団体等とも連携して進めてほしい。
- ・ビオトープに外来種の持ち込みや重要な植物が採取されないように努めてほしい。

【景観（緑化）】

- ・法面にクズが繁茂すると生物の多様性が失われるため、注意してほしい。

○平成30年度の事後調査計画書について

- ・カジカ中卵型と餌となる底生動物との関係性や、底生動物の餌となる付着藻類と照度との関係性などを適切に把握するための調査・とりまとめを実施してほしい。